



「にこにこあおむし人形劇」



川崎区にある渡田こども文化センターでは、地域親子のつながりや子どもたちとの交流を広げる機会を設けるため、地域で活動している「にこにこあおむし人形劇団」の方々を招き、人形劇の公演を行いました。

人形劇が始まると「にこにこあおむしくん」が登場し、明るい歌声が響きました。そこに動物たちも登場し、楽しいお話が繰り広げられました。コミカルに

動く動物たちと子どもたちとのテンポの良い掛け合いがとて面白く、会場は子どもたちの笑い声と笑顔で満ち溢れていました。またパネルシアターでは背丈の異なるサンタクロースが登場し、色々な形をした煙突から家の中に入りプレゼントを配るというストーリーに子どもたちは惹き込まれていきました。参加された大人も童心に帰り終始笑顔が見られ、楽しいひと時をみんなで過ごし素敵な交流ができました。

当財団では、様々な活動をされている地域の方々との交流を通して、子どもたちの健やかなこころの成長を見守っていきます。



※本紙に記載の催しは、状況により変更になる場合があります。

【報告】 2020年度大学連携事業

2月5日(金)、専修大学ネットワーク情報学部との連携事業「大学連携事業」の発表会「かわさきNPO映像交流会」を開催しました。今年は市民活動団体9団体、学生42名が参加したこの事業は、今年で11年目になります。

担当した学生から作成したパンフレット、WEBページ、動画の説明があり、団体からはコメントや感謝の言葉がかけられました。

今年度参加した団体と作成したWEBページのURL、また団体の紹介動画やパンフレットについての説明資料を公開しました。センターのホームページからご覧いただけます。



注目! 助成金をお考えの団体のみなさんへ

かわさき市民公益活動助成金の報告会とプレゼンテーションを開催します。今後申請を考えている団体へのヒントがたくさん見つかるイベントです。会場はかわさき市民活動センターの会議室とフリースペースです。ぜひご活用ください。見学希望の方は、事前にご連絡ください。

2020年度事業報告会 4月11日(日)

2021年度公開プレゼンテーション 5月15日(土)・16日(日)

※時間は決まり次第ホームページに掲載します。

パワーアップセミナー

オンラインイベントで楽しい時間づくり!
双方向のコミュニケーションを生みだすコツ

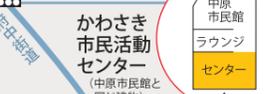
日時 4月17日(土) 10時から12時半
オンライン開催

講師 NPO法人コモンビート
坂本 郷子さん

参加費 1000円

申込み Peatixより事前申し込みになります。
詳細はセンターHPで

■ご案内 MAP



Facebookでも情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>

ポータルサイト「応援ナビかわさき」
<http://kawasaki.genki365.net/>

2021年
春号 (通巻No.295)

ナンバーゼロ



目次

- P2 ボランティアを募集する
- P3 オンラインライブ超入門
- P4 大学連携事業報告

特集 | ボランティアを募集する

VN 2021

KAWASAKI ボランティアナビ2021

のんびり屋さんも楽しめるタイプも、自分のペースで、地域でアクション。

さあ、行動しよう!

川崎市のボランティア情報

掲載数 110件



春は多くの市民活動団体にとっても新しい年のスタートの季節です。活動計画や予算案なども整え、活動に参加してくれるボランティアの募集も考えている団体もあるかもしれません。

今号では、ボランティアを募集する際に考えておきたいこと、準備すること、広報についてをまとめました。

また、リピーターとして参加してもらうための工夫などを、実際に活動している団体にインタビューしました。

掲載数 110件!

ボランティア募集冊子「ボラ・ナビ2021」発行しました!
当センター、市内の公共施設で配布中です。

特集 ボランティアを募集する

～募集するとき、考えていますか？～

✔️ どんなボランティアが必要なのか話し合おう

何のためにボランティアを受け入れるのか、組織の中で話し合っておきましょう。スタッフやアルバイトとは違う、「ボランティア」の役割をはっきりさせ、ボランティア受け入れを通して目指すことをはっきりさせておきましょう。役割が決まっていなくて、当日ボランティア参加者が何をすればよいかわからない、というトラブルも起こりがち。何をお手伝いして欲しいか、具体的に考えておくのがポイントです。

✔️ 広報しよう

役割と内容が決まれば、どんな人を募集するかも見えてきます。どんな人が決まれば、広報するときのツールも絞られてきます。紙媒体か、インターネットか、SNSならどれがいいのか、相手に合わせた効果的なツールを選びます。募集情報と一緒に「協力したい」という気持ちを呼び起こすメッセージを添えましょう。また、口コミはボランティア募集の強力なツールです。口コミを広げるには、日頃から団体の活動を外へ発表する、交流会や市民活動のイベントなどに参加し、活動紹介や、名刺交換などで顔を売っておく、SNSでつながりを作っておくことも大切です。

✔️ 迎える準備をしよう

ボランティアを温かく迎えられよう、団体内で、いつ、どのようなボランティアを受け入れるのか、情報を共有しておきます。説明会や見学が必要な活動については、事前に実施します。ボランティアには、当日誰を訪ねていけばいいのかわからない、困ったことがあったら誰に聞けばいいのかなどを伝えておきます。

✔️ 活動が始まってから

短い時間でもいいので、ボランティアと活動を振り返る場を作りましょう。ボランティアはあくまでも、個人が「自発的な意思に基づいて他人や社会に貢献する活動」です。参加したいと思った気持ちを持ち続けてもらうために、団体でできることは何か、考えましょう。



「グリーンバード武蔵小杉チーム」 代表 那須野純花さん

—— 街の清掃活動を始めて6年目だそうですね。
今のボランティアの募集方法、参加状況を教えてください。

ホームページやSNSを見て参加してくれる人が多いです。参加者は1回約30名。今はコロナで20名程度に絞っています。リピーターは3分の2くらい。立ち上げた動機とか想いとかに共感してきてくれる人は毎回来てくれています。

—— 活動する上で、何か工夫していることはありますか？

新しい方が入りにくい空気にならないよう、極力誰でも入れるフラットなプラットフォームにしたいと気を配っています。また、ゴミ袋係とトンぐで拾う係に分け、拾ったら声をかけるなど、コミュニケーションが生まれるようにしています。

—— 毎回、集合写真をSNSに掲載していますね。

はい、写真を撮ることで、参加者同士の実際の距離も心の距離も縮まっている気がしますし、やっぱりそれを見て楽しそう！とか参加してみたい！と思ってくれる人が多い気がします。実際に活動自体に来れなくても、SNSで興味を示したり、「いいね」してくれたりすることは、他の方の背中を押すことにつながっているようです。

—— ほかに心がけていること、工夫していることがあれば教えてください。

立ち上げ当時は、他のチームに参加して、進行の仕方やチームの盛り上げ方を学びました。また、あくまでゴミ拾いはツールで、大事なのは活動を通して人とのつながりを重要視していることを理解してもらうことかな。活動より先に想いがあるというか。毎月来れなくても全然OK!気軽に来れる活動を目指しています！



つながるマルシェ 初開催！ 「つながるマルシェ」報告

5団体がオンラインで活動紹介

2月28日(日)、10時から約70分間、Youtubeライブで「つながるマルシェオンライン」をライブ配信しました。企画当初は対面の販売会の予定でしたが、1月末にオンラインのみの開催に切り替え、約1か月で準備しました。センターのフリースペースに参加5団体のブースを円形に配置し、中央からカメラで映す方法で、順番に団体を紹介していきましました。出展団体は、動画や掲示物などで活動を紹介します。寄せられたコメントに応えるなど、双方向のやりとりもできました。ライブ前後には名刺交換なども行い、交流にもつながりました。午後のワークショップは申込者限定のZoomで実施しました。開催にあたっては、準備から当日まで、NEC玉川プロボノ倶楽部の皆さんにご協力いただきました。当日はイッツコムの取材もあり、3月11日「地トNEWS」で放送されました。



ライブ映像はこちらから

- 出展団体(出演順)
- くれよん
 - 川崎区盛り上げ隊!
 - NPO法人幸区盛り上げ隊
 - 川崎の男女共同社会をすすめる会
 - 一般社団法人日本こども色彩協会



ライブの映像はセンターのYoutubeチャンネルからご覧いただけます。

かわさき市民活動センター 賛助会員募集(個人・団体)

あなたの寄付を川崎市内の市民活動に活かします

個人	一口 1,000円 (一口以上)
団体・法人	一口 5,000円 (一口以上)
郵便振替口座番号	00210-6-68974
口座名	(公財)かわさき市民活動センター

●税制上の優遇措置について
公益財団法人である当センターへの賛助会費を含む寄附は、所得税の寄附金控除の対象となります。個人が確定申告などを行う際、一年間の特定寄附金の合計額から2,000円を引いた額を、総所得金額から控除できます。ただし、年間の総所得金額の40%相当額が上限となります。
※詳しくは、お近くの税務署にご照会ください。

オンラインライブ超入門 (例: Youtubeライブ)

たくさんの方に見てもらうため、オンラインでライブ配信をする団体が増えました。カメラやマイクがついたパソコンがあれば、一人での配信は簡単にできます。

< 事前準備 >
Googleのアカウントを取得して、Youtubeチャンネルを作っておきます。チャンネルはアカウント名のままで、新しい名前をつけることもできます。

< 配信までの流れ >

- 1) Youtubeページ右上のアイコンから「Youtube Studio」に進み、ライブストリーミングの有効化を行います。ライブストリーミングの有効化には、最大24時間かかります。この作業は初回のみ。次からはすぐ配信できるようになります。
- 2) Youtubeページ右上のビデオカメラのアイコンから「ライブ配信を開始」をクリックすると、配信設定ができる画面が表示されるようになります。
- 3) ここのウェブカメラをクリック、配信の概要(タイトル、公開非公開、サムネイル画像など)を入力、「ライブ配信を開始」をクリックすれば、ライブがスタートします。終了するときは、「ライブ配信を終了」をクリック。
- 4) ライブの映像は自分のコンテンツとして保存され、公開することもできます。



このほか、予約して配信する方法、外部カメラや映像を切り替える、テロップをつけるなどができる配信ソフトを使った方法などがあります。配信の際は、使う画像や音楽などの著作権、個人情報などに気をつけましょう。



●個人住民税の控除について
公益財団法人である当センターへの賛助会費を含む寄附は、神奈川県および川崎市の条例により指定されておりますので、個人住民税の寄附金税額控除の対象となっています。(ただし、神奈川県または川崎市に住民登録をされている方に限ります)